



病理形態学講座セミナー



日時： 2011年7月15日(金) 17時30分～18時30分

会場： 基礎研究棟1階 カンファレンスルーム

[演題]

口腔扁平上皮癌に関するトピックス

－ 前癌病変の病理診断についての最近の考え方と癌の浸潤・転移に関わる因子についての研究 －

[演者]

小川 郁子 先生

広島大学病院 口腔検査センター

口腔粘膜上皮組織は、生物学的にも高い再生能を有するなど、他臓器の上皮組織とは異なる特徴を有する組織です。日常病理診断業務においても、我々病理医は、診断(反応性? 異形成? 癌?)に苦慮する口腔領域の重層扁平上皮病変に遭遇する機会が多く、皮膚など他臓器の重層扁平上皮病変とは異なった組織診断基準の必要性を感じています。また、口腔・顔面領域という解剖学的特殊性から、癌に対しては、早期に診断し治療を開始することが必須となります。本セミナーでは、口腔病理診断を専門とされている小川先生に、口腔粘膜病変の組織診断・生物学的特性について、ご自身の研究室(大学院口腔顎顔面病理形態学研究室)の研究成果も含め、最新の知見をご紹介します。